

Welなかがわ

ウエル

WelはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

第43号

発行 / 2011.3

企業の社会貢献

企業の社会貢献とは、「企業も地域社会の一員として、その地域社会が抱える課題に取り組み、資源や専門能力を投入し、その解決に貢献すること」などと言われています。地域福祉イベントを開催したり、従業員がボランティア活動を行うなど色々な形で社会貢献に取り組む企業がありますが、今回は、中川区の福祉向上のために寄贈があったので、ご紹介します。



～中部鋼鉄株式会社様から～

区内にある中部鋼鉄株式会社様から、会社設立60周年を記念して本会へ車いす対応の福祉車両とコピー機を寄贈していただきました。中川区の地域福祉推進に役立ててほしいとの思いを受けて、住民の皆さんに活用していただくため、次のとおり貸出事業を始めます。

車いす対応車&コピー機 貸出事業スタート!



車いす対応車貸出

車いすのままリフトで乗降できる福祉車両です。

- 対象 中川区在住の車いす使用者及びその家族
- 貸出期間 3日以内
(土・日・祝日は含めず)
- 利用料 無料
(ガソリン代は実費負担あり)
- 受付 利用日の2か月前の初日から
- 申込方法 利用日の7日前までに
「車いす対応車利用
申請書」を提出
- 必要書類 運転者の運転免許証(写)



コピー機使用貸出

ボランティアルームに設置してあります。

- 対象 中川区在宅
サービスセンターの
施設利用者
- 料金 白黒 1枚 5円
カラー 1枚 30円
- 使用時間 午前9時から
午後5時まで



詳しくは本会へお問い合わせください。

今号の内容



企業の社会貢献	1	福祉講演会	6
いきいき支援センターからのお知らせ	2	平成22年度賛助会員加入状況報告	6
第2次地域福祉活動計画ニュース	3~4	寄付のお礼	6
赤い羽根共同募金実績報告など	5		

いきいき支援センターからの お知らせ

I 認知症高齢者を介護する家族を対象とした事業のお知らせ

いきいき支援センターでは、日ごろ認知症高齢者を介護している方を対象に認知症の理解や介護負担の軽減を図るための次の事業の参加者を募集します。

介護について一人で悩まないで、交流会などに参加しながら日ごろの介護の悩みや不安をお話してみませんか。

1 家族教室



認知症について学びます

介護している家族の方が、認知症の基礎知識や接し方について医師や介護経験者等から学ぶ教室です。

対象 認知症高齢者(65歳以上)
を介護するご家族

開催時間 13:30~15:30

会場 各いきいき支援センター
(西部・東部)

タイトル	西部	東部
ようこそ家族教室へ	4/22(金)	4/15(金)
認知症を正しく理解しよう	5/27(金)	5/20(金)
サービスについて知ろう	6/24(金)	6/17(金)
関わりについて学ぼう	7/22(金)	7/15(金)
介護体験を聞こう	8/26(金)	8/19(金)
今後の仲間づくり	9/30(金)	9/16(金)

2 医師(物忘れ相談医)による 専門相談



～早期発見・早期治療が大切です～

物忘れ相談医が、認知症の症状や対応方法など、ご不安なことの相談に応じ、不安の解消や早期発見、早期治療に向けたアドバイスを行います。

参加方法 事前予約が必要です。
(お1人約30分、毎回3人程度)

開催時間 13:30~

会場 各いきいき支援センター
(西部・東部)

西部	東部
4/ 8(金)	4/21(木)
5/12(木)	5/19(木)
6/10(金)	6/21(火)
7/14(木)	7/14(木)
8/12(金)	8/23(火)
9/ 8(木)	9/20(火)

3 家族サロン (憩いの場)



ひとりじゃない ～みんなで話しませんか～

介護している家族の方どうし、同じ思いを持った参加者が介護の工夫や自由な交流を図っています。

対象 認知症の方と関わっている方
(介護の有無は問いません)

開催時間 13:30~

会場 各いきいき支援センター
(西部・東部)

西部	東部
4/27(水)	4/21(木)
5/25(水)	5/19(木)
6/22(水)	6/21(火)
7/27(水)	7/14(木)
8/24(水)	8/23(火)
9/28(水)	9/20(火)

II 地域住民向け認知症サポーター養成講座開催報告

今年度、西部いきいき支援センターでは、市営住宅の「たかはた荘」と「千音寺荘」で、自治会の方と協力しながら『認知症サポーター養成講座』を開催しました。地域からの要望でサポーター養成を行うのは今年度初めてで、幅広い年齢の方に分かりやすくするため、認知症の方への対応方法などの寸劇を取り入れたところ、大変好評でした。

将来的に、高齢者の増加にともない、認知症の方も増加することが予測されます(85才以上の高齢者の4人に1人は認知症になると言われています)。こうした中で、認知症に対して正しい知識を持ち、あたたかく見守ることができる地域が少しでも増えていくことを、私たちはめざしています。

認知症について勉強したいという地域がありましたら、お気軽に担当のいきいき支援センターへお問い合わせください。

認知症サポーターとは、認知症を理解し認知症の方やその家族を見守る応援者で、この講座受講後はそのしるしとして「オレンジリング」をお渡ししています。



寸劇の様子。扮装は完璧!

お問合せ・申込み

※お住まいの学区により、担当するいきいき支援センターが決まっています。

西部いきいき支援センター TEL352-8258

野田、荒子、正色、五反田、戸田、春田、豊治、長須賀、西前田、万場、千音寺、赤星、明正学区にお住まいの方

東部いきいき支援センター TEL354-8343

広見、露橋、八熊、八幡、愛知、常磐、篠原、昭和橋、玉川、中島、西中島学区にお住まいの方

いきいき支援センターは、高齢者のみなさんが住みなれた地域で安心して暮らせるよう保健・福祉・医療などさまざまな面から高齢者を支える「高齢者福祉なんでも相談所」として区内2か所に設置されています。

第2次地域福祉活動計画ニュース

その7

7回目となる今回は、シリーズ化した「ふれあい・いきいきサロン」の紹介、地域で活動するボランティアの活動などをご紹介します。



基本計画1

ご近所づきあいを大切にしたたまり場づくり たまり場の設立

お住まいの地域の身近なところにある誰もが気軽に立ち寄れるたまり場「ふれあい・いきいきサロン」をご紹介します。今回は、地域福祉推進協議会が実施する2つの新しいサロンをご紹介します。

ふれあい広場

開催日：毎月最終水曜日 10:00～11:30
会場：富田地区会館 和室
参加費：100円（保険料・茶菓子代）

対象
地域住民

戸田学区地域福祉推進協議会が、地域の方が顔を合わせる場を作りたいという想いを込めて、昨年4月にこのサロンを立ち上げました。運営は、老人クラブや民生委員児童委員、区政協力委員など各種団体の方が力を合わせて行っています。

会場には、コーヒー・紅茶・日本茶そしてお菓子が用意され、自由に好きなものをいただきながらおしゃべりしています。年末にはお正月飾りの花餅を作るなど、企画することもあるそうです。



この日はおひな様づくりに熱中

参加者の方が単なるお客さんではなく、机の準備やお茶の準備も出来る方は手伝うという手作りの集まりになっています。

自由な雰囲気サロンです。地元の方は、一度遊びに行ってみましょう。

よつわ会

開催日：毎月第4水曜日 13:00～16:00
会場：五反田コミュニティセンター
参加費：無料

対象
地域の60歳以上の方

五反田学区地域福祉推進協議会が昨年6月に始めたこのサロン。名前は、「和・話・笑・輪」の4つの「わ」を大切にしたいという想いから付けられました。運営は、民生委員児童委員が中心で行っています。



地域住民の方が、時間をあやとりに挑戦中。懐かしい！過ぎた頃に次々と自由に集まり始め、来た人からおしゃべりを始めます。この日おもしろに取り出されたのは、あやとりのひも！皆さん「懐かしい」「忘れちゃった！」と言いながらも、やり始めると身体が覚えているようで、賑やかに楽しんでいました。

また、ゲストを呼んで音楽を聴いたり、介護保険についての講義を受けたりという企画を行うこともあるそうです。

昔、地域で気軽に立ち寄りおしゃべりする場として一般的だった「縁側」のような場所にできれば…。お互い顔を合わせて地域の人々がつながればいいですね。



基本計画8

地域福祉推進協議会の活性化

昨年は、所在不明高齢者について問題が起こり、流行語に「無縁社会」が選ばれるなど、家族や地域とのつながりが薄くなっていると言われています。

社会福祉協議会では、中川区がみんなで支え合える福祉のまちになるよう色々な支援をしていますが、その際、地域福祉活動の中心となるのが、**地域福祉推進協議会**(以下「推進協」と略します)です。**推進協**は、小学校区単位に、地域の各種団体が中心となり、学区住民全体が力を合わせて「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して作られた団体で、市内全小学校区に設置されています。

推進協の活動内容は、学区により異なりますが、住民の困りごとを把握するための座談会を行ったり、家に閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子などの交流の場として「ふれあい・いきいきサロン」を行ったり、手助けが必要な方のために、近隣住民が協力して見守りなどをする「ふれあいネットワーク活動」を行ったり、住民が世代を超えて交流できるイベントやお祭りを行うなど様々です。

お住まいの地域で行われている福祉活動に目を向けてみませんか？そして、自分のまちを良くするために、地域の活動に参加してみませんか？



基本計画9 ボランティアの活性化

「ボランティア活動」と言うと、何か特別なものと少し構えてしまう部分があるかも知れません。しかし、ボランティアにも色々な活動があります。

定期的・継続的に施設などで介助や作業の手伝いをする活動、グループに入り仲間と一緒にやる活動などの他、単発のイベントでその日だけ活動をするようなものや、特技を活かした活動もあります。

今回は、区内の高校生が取り組んだ活動をご紹介します。このように、空き時間を利用して、面白そうだなと思うことに一度チャレンジしてみませんか？

県立中川商業高校

今、中川商業高校ではボランティア支援に力を入れていて、ボランティアに興味のある生徒さんをメンバーとして登録し、色々なボランティア活動を紹介しています。実際活動しているメンバーは50人程度いるそうです。

今回は、本会実施の2事業に関するボランティア活動をご紹介します。

10月に行われた「中川区障がい者と区民のふれあい広場」は、毎年本会と区内の障がい者関係団体で実施し、2,000人近くの住民が参加するイベントですが、ここで各ブースのお手伝い。本部を担当した生徒さんは、共同募金のキャラクターと募金活動をしたり、風船釣りのための水ヨーヨー風船を作ったり、スタンプラリーの景品交換受付と大忙し。また、模擬店・ゲームコーナーなどを担当した生徒さんもいて、いずれもお客さんやブースの障がい者・職員さんとのふれあいが楽しかったと感想をくれました。

また、西前田小学校で行った福祉体験学習の授業では、小学生が全身に色々な装具をつけ、高齢者を疑似的に体験するお手伝い。どんどん身体が動きにくくなる子どもさんに優しくフォローしてくれました。

いずれも、土・日曜日に開催した事業で、学校が休みの日だったので参加できました。



◀ 耳の聞こえにくさを体験する装具を装着中。



▲ 共同募金をPRするキャラクター愛ちゃんと一緒に募金活動。愛ちゃんの中にも、交代で男子生徒が入ってくれました。体力勝負！

名古屋市立工業高校



▲ 朝7時台から街頭募金

▼ 車いす修理中



名古屋市立工業高校では、専門の学習を活かし様々な分野でボランティア活動を行っています。

機械研究部の皆さんは、本会が福祉体験学習や区民の方に貸出用として使用している車いすを、定期的に点検・修理してくれているので、区民の方々や子どもたちが安心して車いすを使用できると大変好評です。

また、毎年10～12月の赤い羽根共同募金運動の期間には、生徒会の皆さんがあおなみ線中島駅で街頭募金活動をするなど募金ボランティアとしても活躍しています。

こちらの高校も熱心にボランティア活動に取り組んでいます。本会としても、これからその気持ちや行動力と連携していきたいと思えます。

ボランティア保険加入のご案内

安心して安全にボランティア活動するために「ボランティア保険」に加入しましょう！ボランティア活動中の事故で、自身がケガをしたり、他人にケガをさせたり、他人の物を壊してしまった場合などに対する保険です。万一の事故に備えて加入をお勧めします。

4月1日からの活動を補償したい場合は 3月31日までに 加入手続きを完了する必要があります。

※保険法改正のため平成23年度から遡及期間の適用がなくなります。

種類	活動保険	行事用保険
対象者	年間を通して活動する方	数日間の行事に参加する方
加入申込者	個人、グループ、特定非営利活動法人（NPO法人）	行事の主催者である団体、グループ等
掛金	<Aプラン> 250円 <Bプラン> 300円 <Cプラン> 350円	<A型>（宿泊を伴わない行事）1日1名につき30円 ※20名以上から加入可能 <B型>（宿泊を伴う行事）1泊2日1名につき240円～
補償期間	加入の翌日から年度末まで	行事開催中

* 3月14日から平成23年度分の加入を受付します。

中川区共同募金委員会から
平成22年度
赤い羽根共同募金
実績報告

皆さまのあたたかいご協力により、今年も大きな成果をあげることができました。
お寄せいただいた募金は、中川区内の地域福祉事業、愛知県内の社会福祉施設の整備などに活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。



平成22年度 共同募金実績
12,545,883円

●一般募金
12,194,696円

- ・家庭から 7,833,977円
- ・会社から 3,194,000円
- ・学校・幼稚園・保育園から 610,498円
- ・職場から 47,762円
- ・その他(イベント募金、赤い羽根協力店など)..... 508,459円

●歳末たすけあい募金
351,187円

株式会社 玉越様
一昨年から毎年大口の共同募金をいただいています。
中央共同募金会長の盾を贈らせていただきました。



岡崎信用金庫
尾頭橋支店・中川支店様
歳末たすけあい募金をいただきました。岡崎信用金庫様は、昭和47年から地域への社会貢献活動として、支店のある市町村の共同募金委員会へ毎年寄付されています。



共同募金
運動



共同募金運動として、今年も様々なことに取り組みました。地域の皆さまには街頭募金をはじめ、地域のまつりやイベントでの呼びかけなど、多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。

学区のふれあいまつりでは、会場で募金を呼びかけていただきました。



千音寺ふれあいまつり



赤星ふれあいまつり

つゆはし作業所のふれあいバザーでは、共同募金のキャラクター「愛ちゃんと希望くん」のイラスト入り水ヨーヨー風船釣りを実施して、共同募金をPRしていただきました。



共同募金のつながり

皆さんからいただいた共同募金は、地域の様々な取り組みにつながっています。

「初級手話講座」

中川区聴覚障害者福祉協会が主催し、聴覚障がい者とのコミュニケーション方法(手話、指文字など)を学ぶ講座が、5月13日から全10回で開かれました。20人の受講生たちは、手話を学ぶだけでなく、聴覚障がいがある方が何を求めているのか、不便なことは何かなどについての理解を深めました。

初級手話講座は来年度も開催予定です。ぜひ受講してみてください。



ありがとうメッセージ
(助成団体からのお礼のことば)

▶ 情報を得にくく困っていることなど、聴覚障がい者に対する理解を深めることができたと思います。ありがとうございました。

平成22年度 福祉講演会 を開催しました

昨年の11月19日(金)に、中川文化小劇場で俳優の天野鎮雄さんをお迎えして、福祉講演会を開催しました。多くの方にお申し込みいただき、当日は、約350名の方にご来場いただきました。

前半は、本会の事業紹介をさせていただき、続いて「出逢い ふれあい 人間こんさーと ～進めていきたい 地域の支えあい～」というタイトルでご講演いただきました。

ご自身は、地域のテレビ、ラジオ情報番組をやっていると様々な出逢いがあり、福祉への貢献活動を始められたのも、車いすを利用されている障がいのある方との出逢いがきっかけだったとのこと。出逢いを大切にすることで人生が豊かになることを、笑いを交えながら、楽しくお話いただきました。

皆さんからいただいたアンケートにも「今までの出会いと人生を振り返ることができた。」「楽しい話で元気が出た。」などとご好評をいただきました。

盛りだくさんの講演内容で、あっという間に時間が過ぎ、とても充実した時間になりました。地域の助け合い、支え合いもまた、出逢い、ふれあいから生まれます。みんなが協力し合ってこそ、住みやすい地域ができていくのではないのでしょうか。



サイン色紙 プレゼント!

天野鎮雄さんに、直筆サインをいただきました。抽選で**2名の方に**プレゼントします。はがきに、郵便番号・住所・氏名・本紙のご感想を記入のうえ、3月31日(木)までに本会までご応募ください(あて先は、下記をご覧ください)。当選者には、発送をもってお知らせします。ご応募お待ちしております。



平成22年度 賛助会員加入状況報告 (平成23年2月15日現在)

賛助会員にご加入をいただきありがとうございました。

みなさまにご協力いただいた賛助会費は、福祉活動やボランティア活動の推進、高齢者のための福祉事業など、中川区の福祉のために活用させていただいています。

平成22年度実績

(内訳)

個人会員	8,499名	10,565,577円
法人会員	459件	2,094,500円

寄付のお礼

寄付金は中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。(順不同)

- 中部電力株式会社港営業所 様
- その他 匿名

お祝いごとや香典返しにかえての寄付を受け付けております。香典返しについては、あいさつ状をご用意いたします。



編集・発行

社会福祉法人 名古屋市 中川区社会福祉協議会

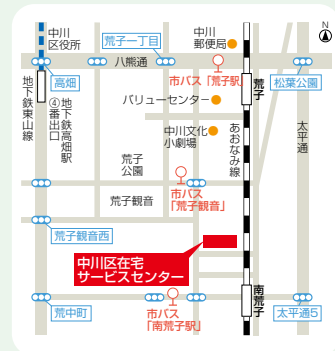
〒454-0875
名古屋市 中川区 小町1丁目1-20
(中川区在宅サービスセンター内)

TEL (052)352-8257
FAX (052)352-3825

メールアドレス
nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp

ホームページ

<http://www.nakagawashakyo.jp>



＝この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました＝

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。

「Welなかがわ」は、再生紙を使用しています。